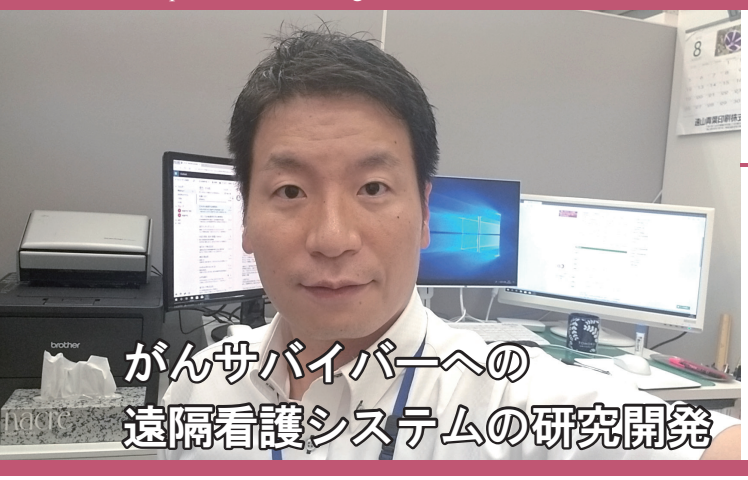


佐藤　大介　准教授
博士（看護学）
Daisuke SATO

研究 Keyword
臨床看護学、がん看護、遠隔看護、QOL

プロフィール
2011 年　宮城大学 看護学部 看護学科 助教
2015 年　宮城大学 看護学部 看護学科 講師
2017 年　東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 博士後期課程 修了
2018 年　公立小松大学 保健医療学部 看護学科 准教授

研究分野
看護学 / 臨床看護学 / 成人看護学 / がん看護学

所属学協会
日本がん看護学会、日本遠隔医療学会、日本看護科学学会、
日本災害看護学会、日本看護研究学会、北日本看護学会

専門分野・研究分野

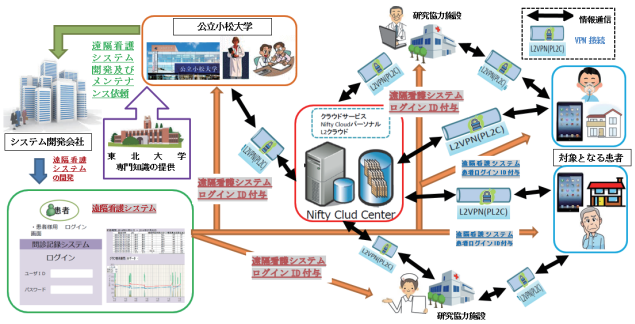
新たな看護支援方法の一つとして遠隔看護は、今後ますます充実していく必要がある

全がんの５年生存率は６割を超え、就労できる年齢層の罹患者数が増加している。また入院日数の短縮化は、在宅で医療を受ける患者を増加させている。がん医療は、患者が仕事と治療を両立して生活を維持し、治療後の機能障害やリハビリ状況を遠隔地でありながらも把握し、支援できるシステムの構築が必要である。手術後の前立腺がん患者に対する合併症の増悪予防と QOL 改善に向けた遠隔看護での支援では、症状を緩和し、患者の QOL を高める可能性が示唆された。これまで個別的なケースにおける実証に留まっており、今後より広範囲の対象についての包括的なエビデンス収集が今後も必要である。

研究内容

外来化学療法中のがん患者に対する症状の増悪予防を目的とした遠隔看護システムの開発

日本では在院日数の短縮化と医療技術の進歩に伴い、高度な治療が外来で行われるようになり、外来での継続治療や個々の患者に応じたタイムリーな看護提供が求められている。特に外来化学療法を受けるがん患者は治療による副作用のリスクが高く、セルフマネジメント教育が重要となる。しかし高齢者が多いがん患者は望ましい療養行動を長期間継続することが困難である。そこで本研究では外来化学療法を受けるがん患者が治療による副作用や有害事象、疾患の進行による症状と向き合いながら生活を自らコントロールし、症状の悪化を予防・軽減できる対策を習得させる。具体的にはインターネットを用いた問診ー回答方式による双方向型遠隔看護システムの構築を目指す（図）。



図．遠隔看護システムの概念図

シーズ・地域連携テーマ例

- がんサバイバーの療養支援
- 災害発生時のがん患者への支援
- がん看護学および遠隔看護に関する研究

論文

- 若年性乳がん患者の初期治療選択の意思決定支援の実態と課題，菅原 佑菜，佐藤 大介，日本看護学会論文集：慢性期看護 48, 211-214, 2018
- 東日本大震災被災地の支援者に対する疲労調査と疾病予防のための看護支援の考察，佐藤 大介，霜山 真，吉田 俊子，日本災害看護学会誌，18(3), 24-35, 2017
- 多元的ケアをどのようにつくり、地域につなげていくか がん患者支援のための遠隔看護システムによる看護介入の可能性，佐藤 大介，聖路加看護学会誌，20(2), 22-24, 2017
- 前立腺がん患者の術後機能障害に対するテレナーシング介入効果について，佐藤 大介，医療の広場，56(5), 24-27, 2016
- がん患者支援のための最新技術　がん治療遠隔看護システムによる患者在宅情報管理・教育の可能性，佐藤 大介，佐藤 冨美子，新医療，42(1), 190-192, 2015
- 「慢性病者の生活を理解する教育方法」による学生の学び，長谷川 直人，佐藤 冨美子，佐藤 大介，東北大学医学部保健学科紀要，20(1), 25-32, 2011

競争的資金等の研究課題

- 外来化学療法中のがん患者に対する症状の増悪予防を目的とした遠隔看護システムの開発　科学研究費補助金：基盤研究 C　2018 - 2020 年度　代表者
- 前立腺がん患者の合併症の増悪予防と QOL 向上を目指したテレナーシング介入効果　科学研究費補助金：若手研究 B　2014 - 2015 年度　代表者
- 新たな評価指標による災害サイクルに応じた心不全予防看護支援モデルの構築　科学研究費補助金：基盤研究 A　2012 - 2015 年度
- 前立腺がん患者の術後機能障害に対するテレナーシングにおけるシステム開発と介入効果について　公益財団法人政策医療振興財団：研究助成（コメディカル部門）　2014 年 7 月 - 2015 年 7 月　代表者
- 前立腺がん患者の治療に対する意思決定を支援する看護実践モデルの構築　科学研究費補助金：若手研究 B　2011 - 2012 年度　代表者
- 東日本大震災被災地域のがん患者における疲労の適正評価について　安田記念医学財団：癌看護研究助成　2011 年 12 月 - 2012 年 11 月　代表者

社会貢献活動

- 東北労災病院看護部 看護研究指導 講師　（2013 年 - 現在）
- 宮城県看護協会 看護師等実習指導者講習会 講師（2016 - 2017 年）
- 東北医科薬科大学病院看護局 看護研究アドバイザー（2013 - 2017 年）
- 財団法人社会福祉振興・試験センター 介護福祉士国家試験　実技試験監督（2012 - 2016 年）